

①名古屋の「緑」と「公園」について



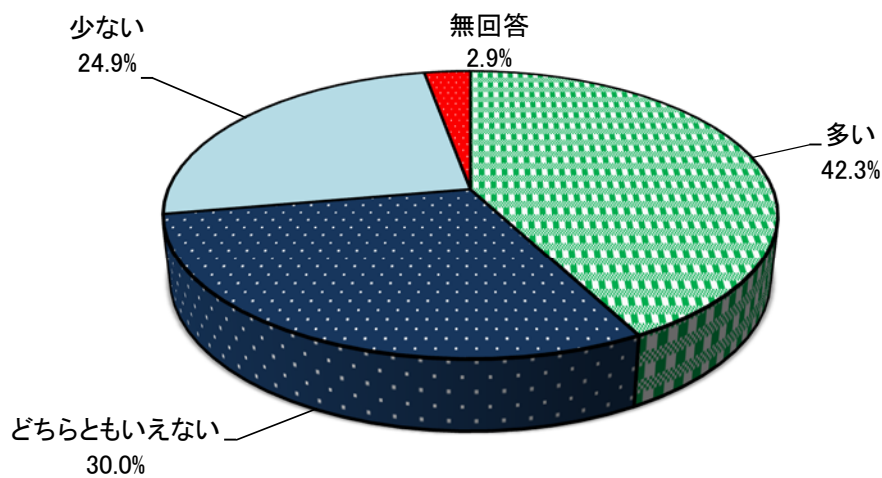
都市における「緑」(*)は、生活に潤いや安らぎを与えるとともに、地球温暖化やヒートアイランド現象などの環境問題を緩和するなど、欠くことができない要素となっています。そこで、名古屋の「緑」について市民の皆さまの考え方をおたずねし、今後の名古屋の「緑」や「公園」のあり方を考える上での基礎資料とさせていただくものです。

※アンケート中の「緑」とは、樹木だけではなく、野原や花壇などの草花や、農作物も含まれます。

※各図表の「N」は、回答者総数を表しています。

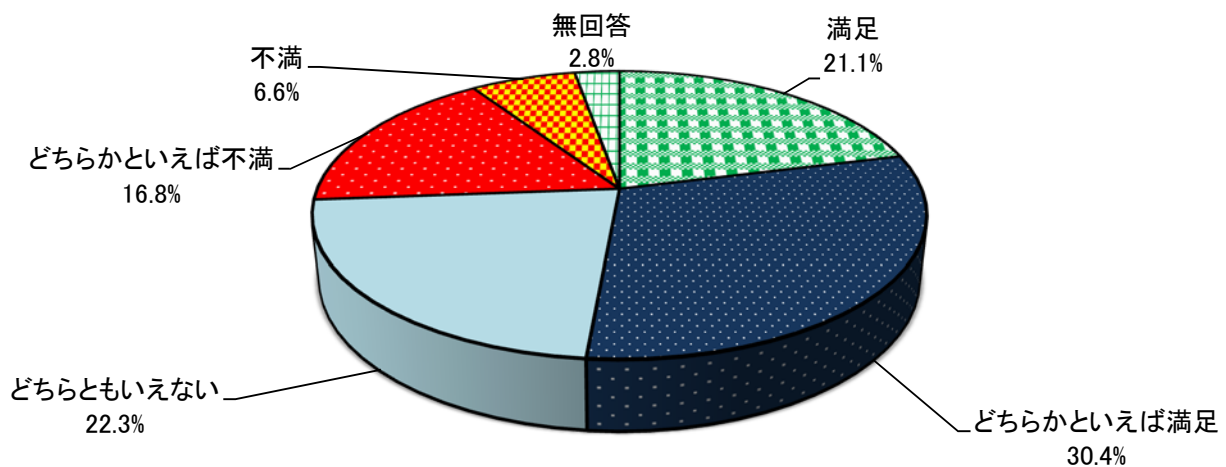
問1 あなたは、お住まいの近くは「緑」が多いと思いますか。(○は1つだけ)

N=1,110



問2 あなたは、お住まいの近くの「緑」に満足していますか。(○は1つだけ)

N=1,110

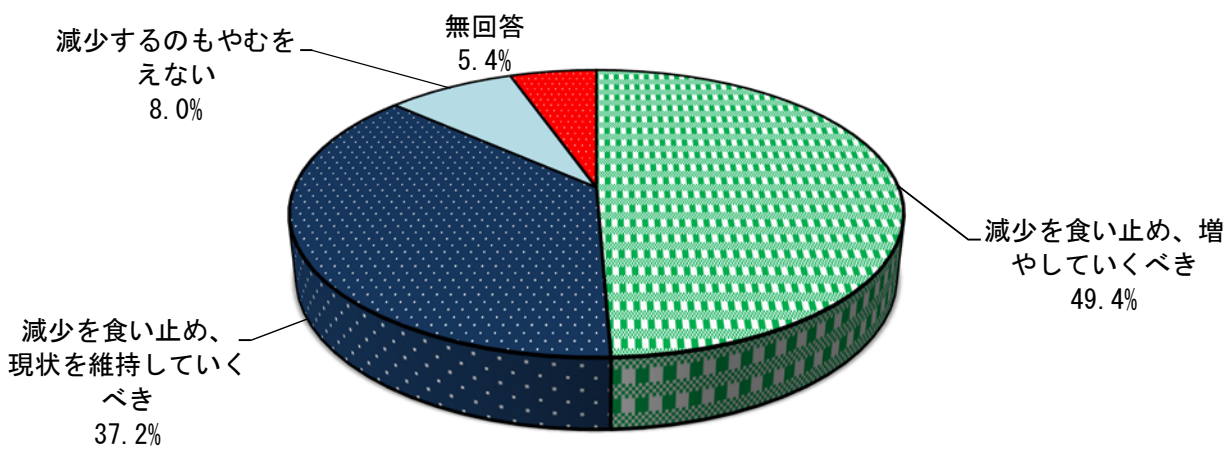


名古屋市では平成2年から平成22年までの20年間で緑被率(※)が29.8%から23.3%に減少し、面積としては2,136ヘクタール(およそ天白区一つ分)の緑が失われました。

※緑被率とは、市域のうち樹木、草・芝で被覆された土地、農地及び水面の占める割合です。

問3 名古屋の「緑」が減少していることについてどう思いますか。(○は1つだけ)

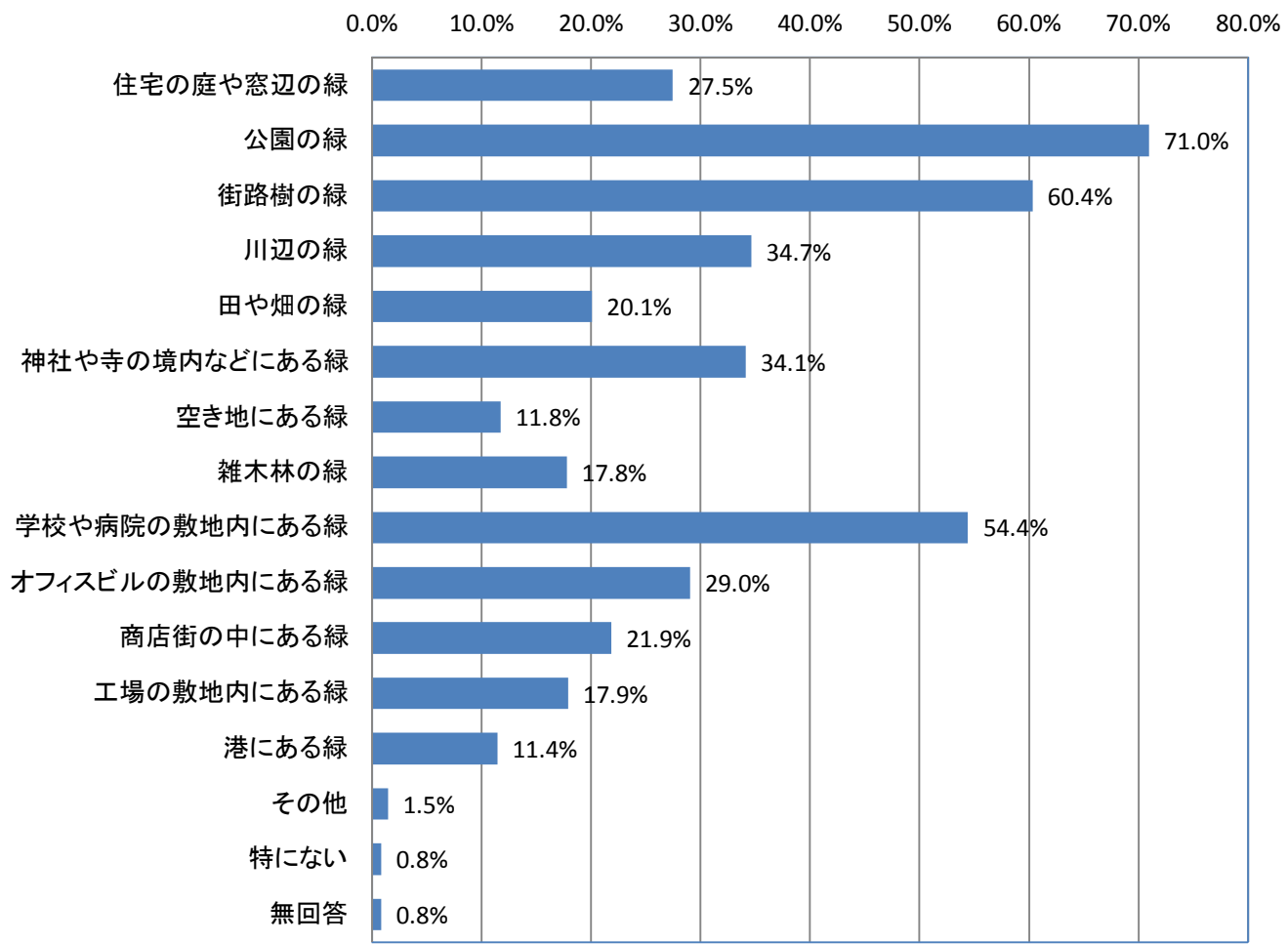
N=1,110



《問3で1~2と答えた方(緑を守ったり増やした方が良いと思う方)におたずねします。》

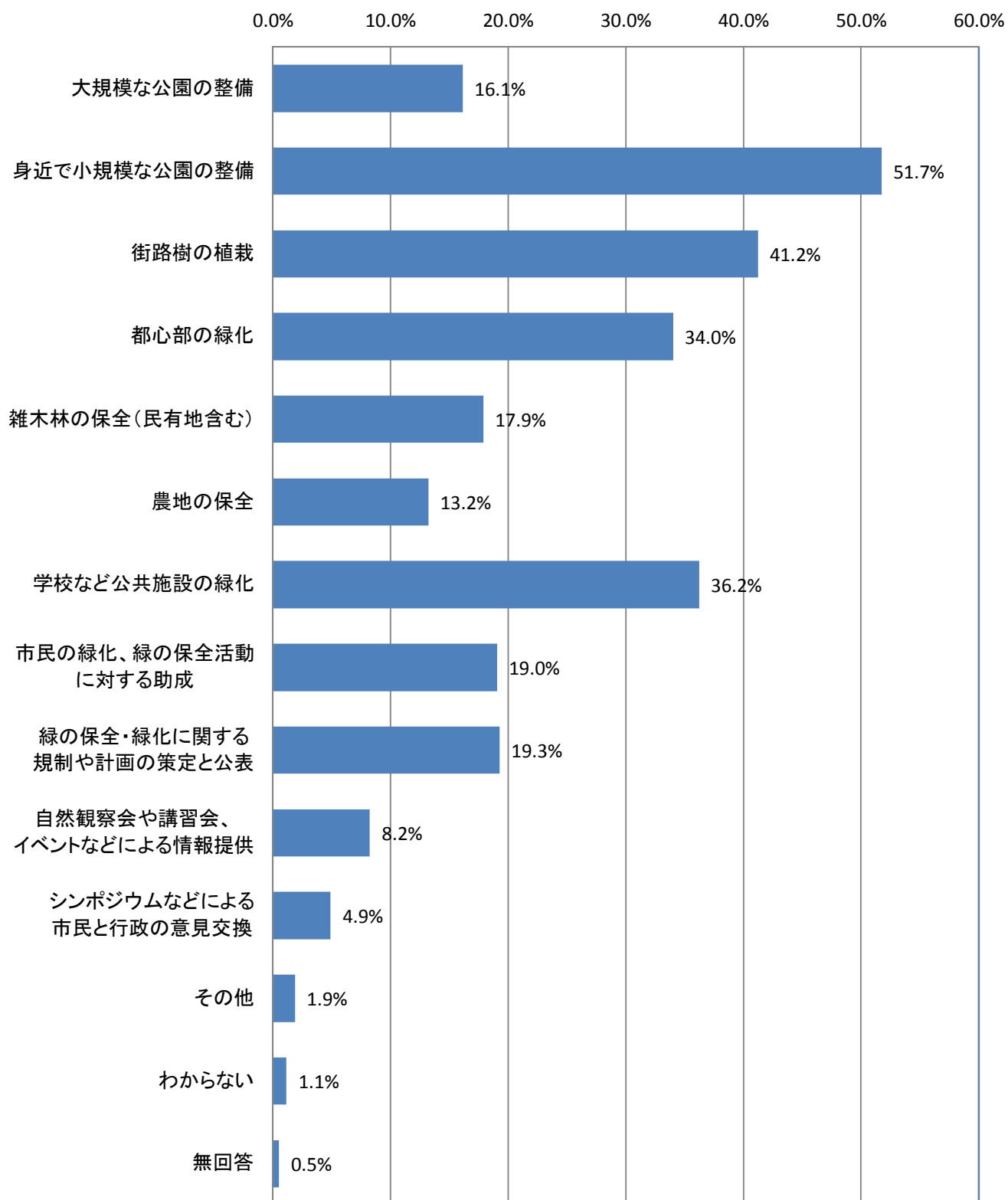
問4 あなたが守ったり増やしたほうがよいと思う「緑」はどれですか。(○はいくつでも)

N=961



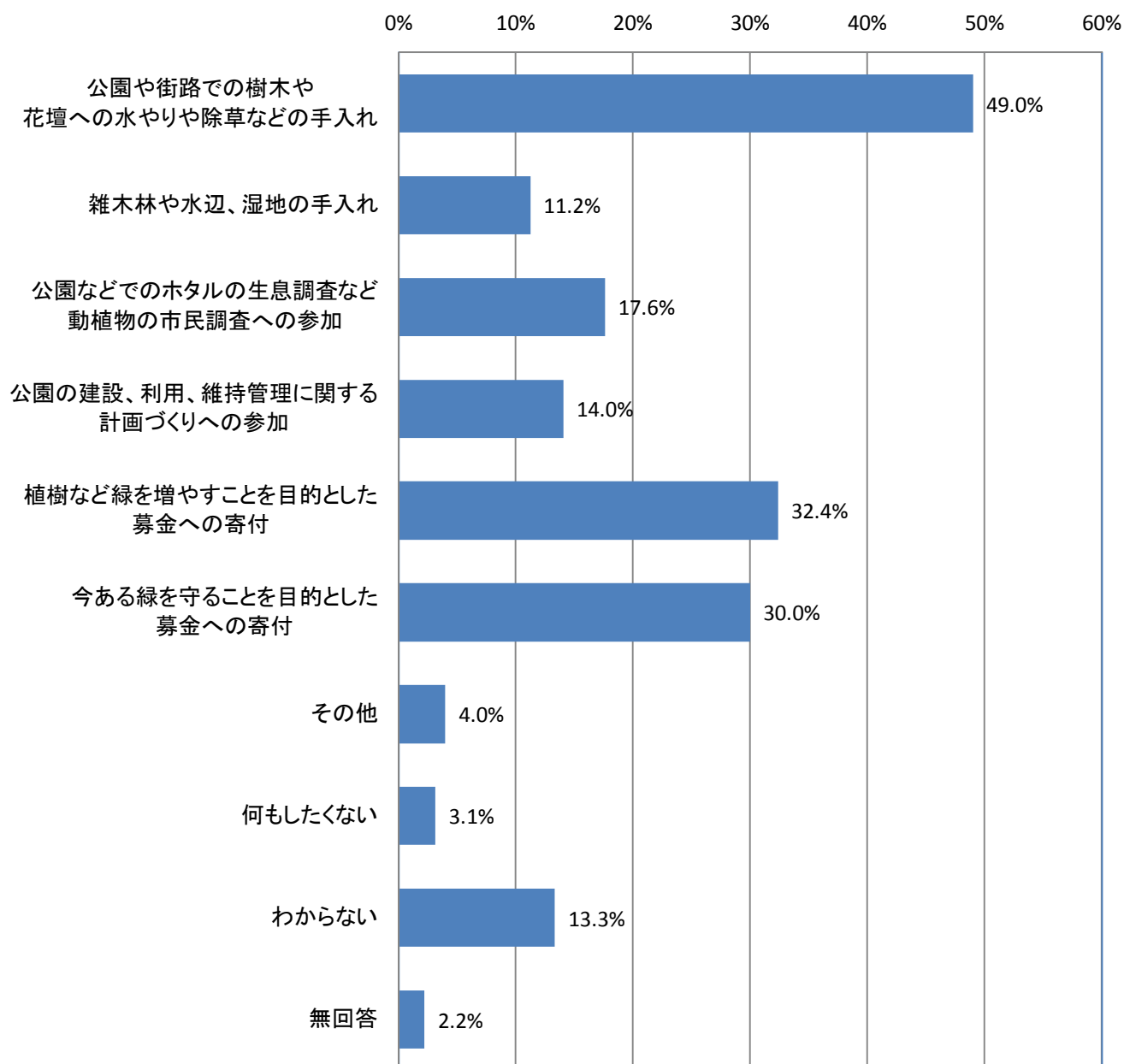
問5 「緑」を守ったり増やしたりするために、行政にどのようなことを期待しますか。
(〇は3つまで)

N=961



問6 地域の「緑」を守ったり増やしたりするために、あなたが行うことができると思う活動はどのようなことですか。(〇はいくつでも)

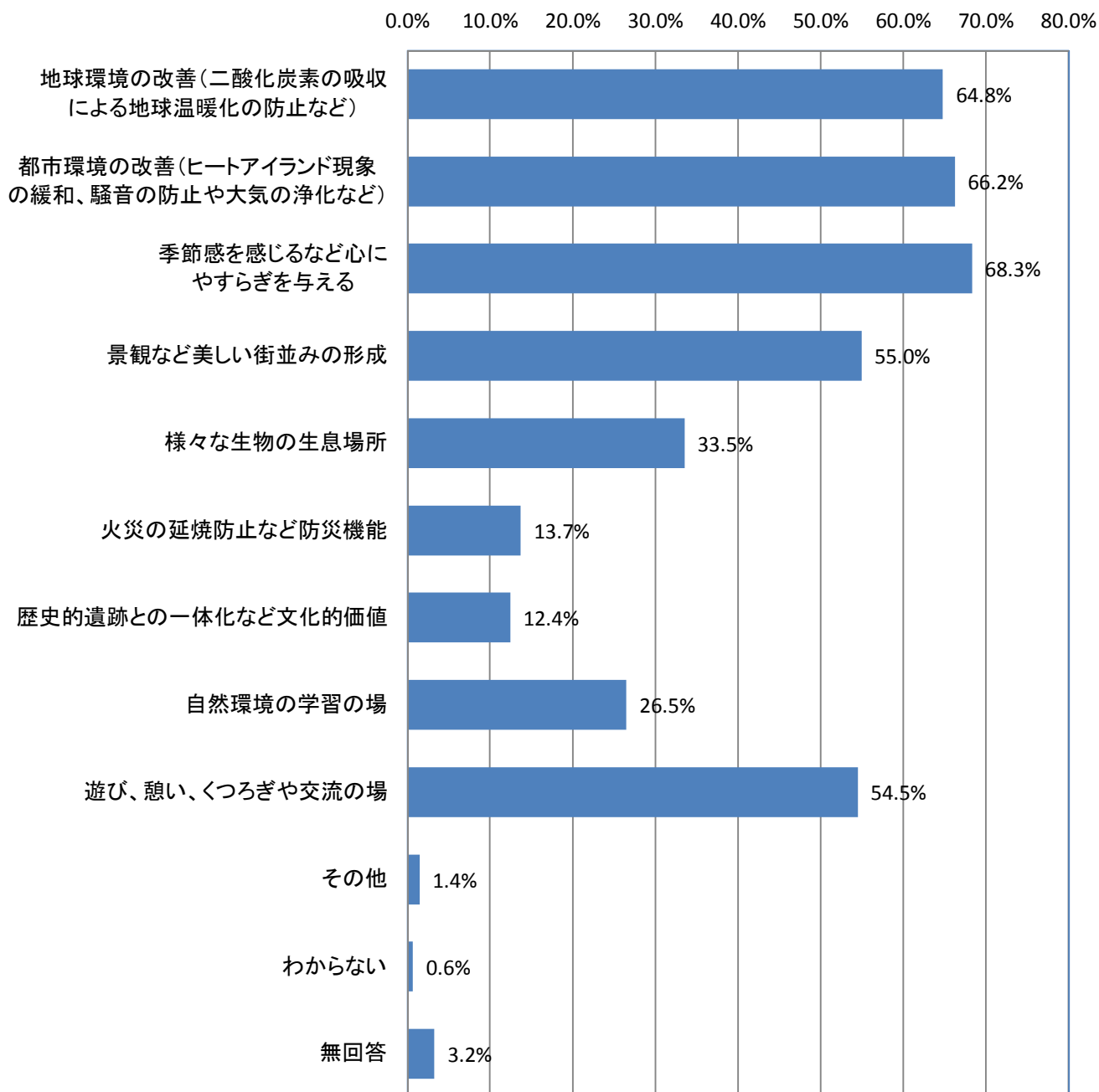
N=961



《すべての方におたずねします。》

問7 あなたは、「緑」にどのような役割を期待しますか。(〇はいくつでも)

N=1,110



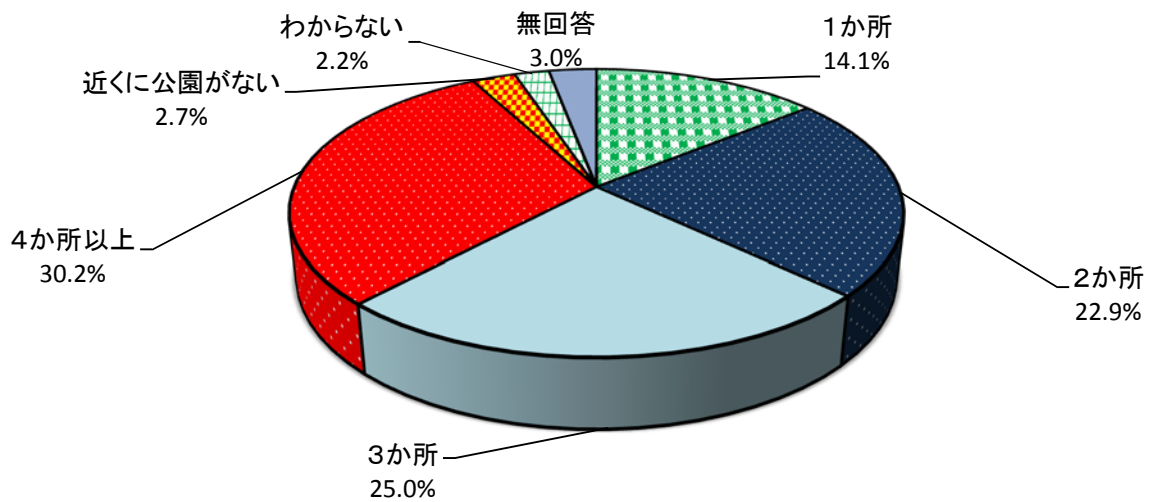
※ヒートアイランド現象とは、都市部において気温が局所的に高くなる現象で、都市部は産業活動や自動車などによる排熱が多い上に、地面の大部分がコンクリートやアスファルトなどで覆われ、水分の蒸発による気温の低下が妨げられるため、熱が蓄積されやすくなることから起こります。

樹木や草花などの緑がある公園は、自然とのふれあいの場として市民生活にうまいと安らぎをあたえることができ、幼児から老人にいたるまでレクリエーションの場としても活用できます。

また、災害時には避難場所としての機能を果たすこともできる重要な都市施設であると考えています。

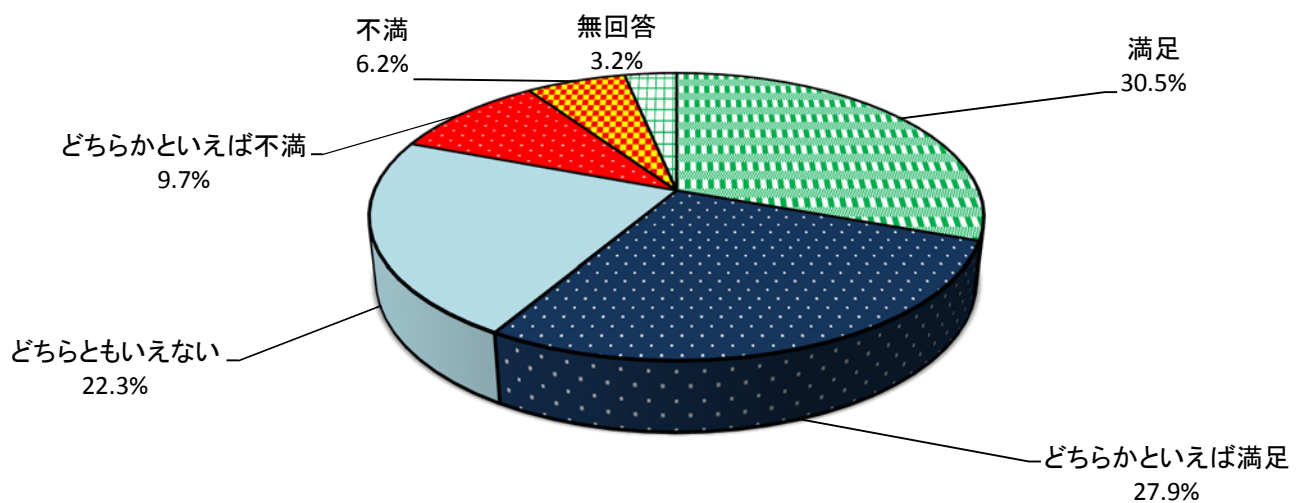
問8 あなたのお住まいの近くに（徒歩15分以内程度）公園の数は何か所ありますか。（○は1つだけ）

N=1,110



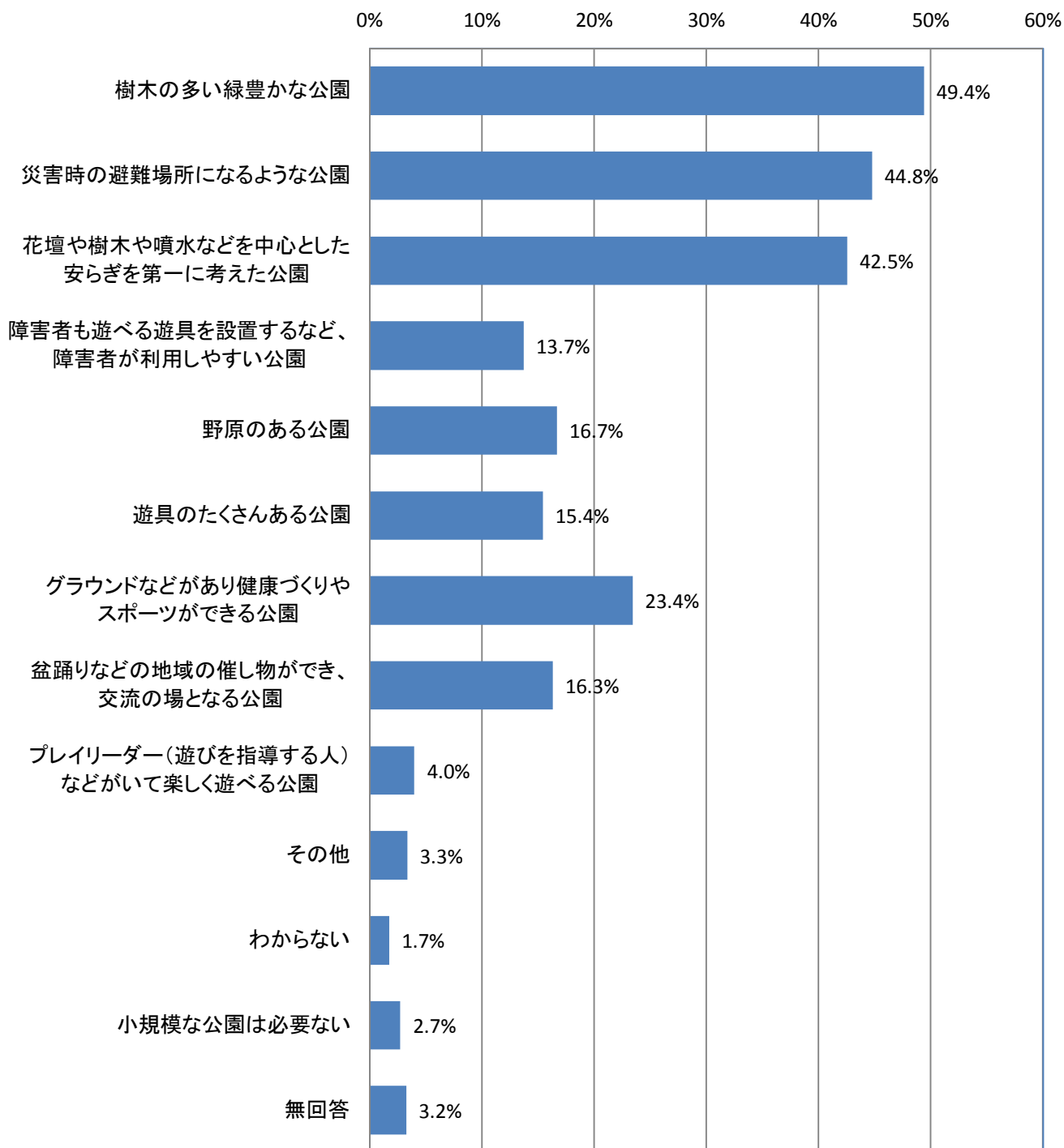
問9 あなたは、お住まいの近くの公園の数に満足していますか。（○は1つだけ）

N=1,110



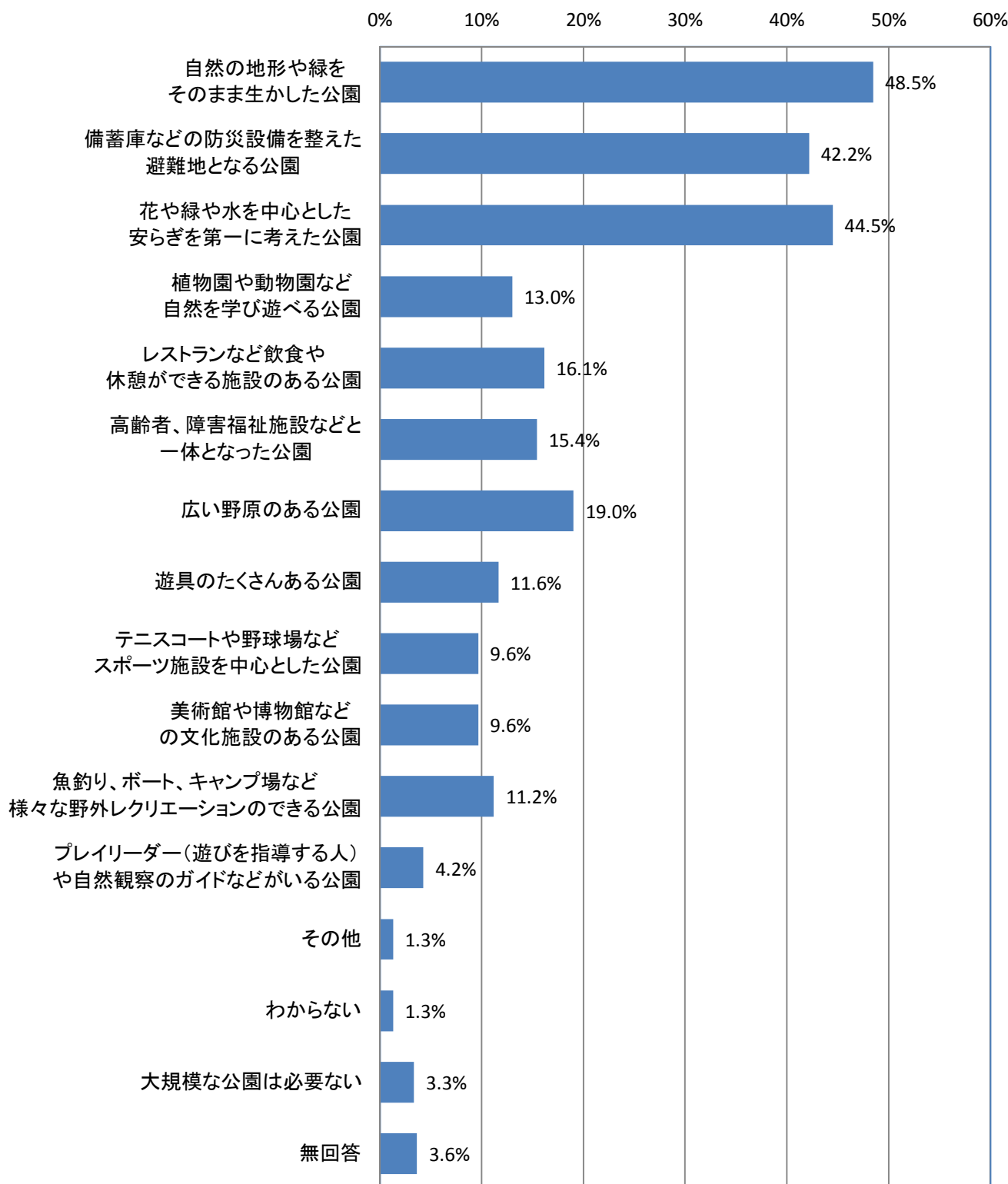
問10 あなたの身近に小規模な公園を整備する場合、どのような公園が望ましいですか。
(〇は**3つまで**)

N = 1, 110



問11 大規模な公園を整備する場合、どのような公園が望ましいですか。(〇は3つまで)

N = 1,110



問 12 名古屋市の「緑」や公園について、ご意見がございましたら、ご自由にお書きください。

- ・緑を増やすことは賛成だが、手入れの行き届かない、整備されていない公園や緑地は、害虫の発生、治安の悪化、小火等の原因となるためいいとは思わない。緑を増やすと同時に維持管理も考えるべきだと思う。
- ・現代には自然の季節を感じる場所がないので、皆が親しめる花で季節を感じる公園があっても良い。
- ・緑や公園を増やす取り組みは非常に良いと思う。限られた土地、予算だとは思いますが、できる限り増やしてほしい。
- ・公園の規模や目的、位置によって公園に分かりやすい愛称をつけると良いと思う。
- ・子供が生まれてから公園の価値を大きく感じるようになった。親子にとって憩いの場となる安全に楽しめる公園をこれからも増やしていただけたらありがたい。

ほか